

愛あいニュース R4/11月号

シルバーカー体験

独立行政法人国民生活センターが発行している「見守り新鮮情報 第437号」に下記のような記事がありました。

「シルバーカー」選び方と使い方

シルバーカー《歩行補助車》は、自立歩行ができる主に高齢者の方が移動や買い物等に使用するものです。手すりにつかまらなければ歩行できない人や、歩行に介助が必要な人などには向きません。時には事故につながる可能性があります。



事例1

右足が不自由なため身内がシルバーカーを買ってくれた。舗装されていない細い道を推しながら歩いたところ、シルバーカーごと転倒してしまった。左大腿骨を手術し、人工骨を入れ、1ヵ月以上の入院となった。（70歳代 女性）

事例2

シルバーカーを推して歩いていたところ、シルバーカーが横断歩道の段差で引っ掛かり転倒し、両膝に打撲傷を負った。車道側に転倒し危なかった。（80歳代 女性）

シルバーカーは高齢者が自立するための重要な補助具です。手軽に手ごろな値段で手に入れることも出来ますが、手軽に手に入るものは上記のような安定性にかける危険をはらんでいます。

この度、愛あいでは福祉用具シルバーレンタルサービス事業所の協力を得て「ロボットアシストウォーカーRT.2」の体験学習を実施しました。（右上の写真）

このシルバーカーは、電動アシスト付きで坂道も無理なく自分のペースで登ることが出来ること、下るときもスピードのコントロールが出来ること。路面や人の動きをキャッチし転倒防止機能が働き、安心して快適な(?)な歩行ができます。但し段差が大きければ危険です。レンタル料も安くメンテナンスも自分でする必要がありません。加えて言えばレンタル料は手ごろな値段となっています。

購入の際には、様々なタイプがあるので専門の知識を持つ福祉用具専門相談員、PT・OTに相談したり、実際にカスターの動きやブレーキの動きも試してみて、使用目的や必要な補助の程度にあった商品を選ぶようにしましょう。